

～オープンな対話と創造の場を目指して～ 鳴子地域委員会だより vol.1 発行 平成 24 年 9 月 27 日

平成25年4月1日
祝！緑区制50周年



緑区マスコットキャラクター
みどりっちゃん

いよいよ 鳴子地域委員会がスタートしました！

9月25日(火)、鳴子コミュニティセンターに住民から選任された委員を中心に運営事務局、区役所、一般住民ら約50人が集まり、第1回会合が開かれました。委員長の選出、副委員長の指名に続き、委員会の今後の方向性、運営方法に関する話し合いなどが行われ、各委員をはじめ、ご来場の一般住民からも多くのご意見を頂き、活発な意見交換が行われました！

■鳴子地域委員会の9名の委員のみなさんをご紹介します

高木 暁彦	鳴子町	竹川日出男	池上台
○木村 浩二	相川	西川 達夫	篠の風
石川 勝男	池上台	木村やち代	相川
横山 祐一	鳴子町	平野 敦大	万場山
◎半田 鑛司	鳴子町		

(※順不同、◎：委員長、○：副委員長)



区長より委嘱状の公布

■第1回は、会議の進め方や次回以降の地域課題の検討方法等について検討しました

第1回目の地域委員会ということで、今後の住民意向を踏まえた会議の進め方や話し合いのルール、さらには今回の地域委員会の取り組みを学区の持続的な活性化につなげていくことの重要性などについて、来場者を交えたオープンな雰囲気の中で、建設的な議論が行われました。

また、次回以降の地域委員会での確に鳴子学区の課題を探るため、半田委員長から「鳴子学区が地域ぐるみで対応すべき主要課題カード(※裏面参照)」の提案がありました。原則として1委員に8枚のカードをお渡しし、委員が4枚、委員のお知り合いで、年齢や性別が異なる住民の方たちが4枚にそれぞれご意見や希望事項などを記載していただくという仕掛けです。



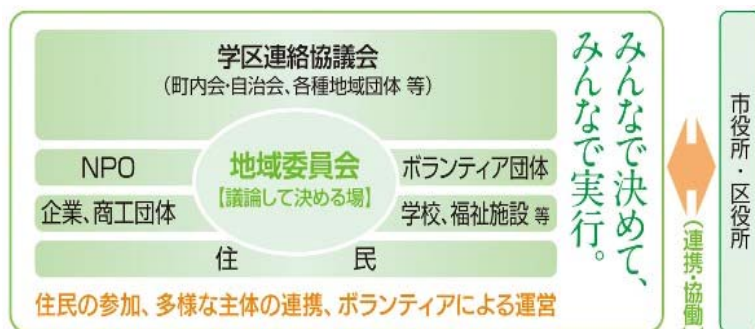
多くの来場者と意見交換しました

次回からは、事前に委員や学区住民に記入していただいたカードを用いて、みんなで話し合いながら、鳴子学区の問題点を掘り起こす作業を一つずつ進めていく予定です。

■地域委員会には、学区のみなさんの参加と協力が不可欠です！

地域委員会は、右図(出典：名古屋市HP)に書かれているように、多様な住民の主体的な参加により、地域づくりについてみんなで話し合い、みんなで決めて、みんなで実行するための大切な仕組みです。

今後、住民の皆さんに対するアンケート調査なども行いながら、来年3月まで毎月2回(原則、毎月第1・3木曜日)のペースで、鳴子学区の地域課題や解決方策等について検討していく予定です。ぜひ、みなさんのご協力をよろしくお願い致します。



【参考:『鳴子学区が地域ぐるみで対応すべき主要課題カード』】

本地域委員会では、鳴子学区住民の皆さんの悩みやニーズを踏まえて的確に地域課題を把握し、その課題解決にむけた方策を検討することが求められます。そこで、各委員の立場から、鳴子学区における主要課題について検討を進めるとともに、多様な学区住民の声をバランスよく把握し、効果的に意見交換を進めてまいりたいと考えております。



9名の委員が車座になって意見交換

そこで、次回以降の地域委員会では、下記の『鳴子学区主要課題カード』を用いて、わが鳴子学区において、緊急性や重要性が高く、地域ぐるみで対応すべき地域課題について検討を進める予定です。“このカードを使って、ぜひ私も地域委員会の議論に参加したい”とお考えの方がいらっしゃいましたら、下記の【お問い合わせ】までご連絡を頂くとともに、第2回地域委員会にも ぜひご参加をお願い致します。

(記入例)

鳴子学区が 地域ぐるみで対応すべき 主要課題カード

【テーマ、キーワード】

転入してきた若い子育て世代の孤立防止

【分野】(該当する分野すべてに○印)

福祉、医療、健康、子育て、防災、防犯、交通安全、都市基盤(道路、公園等)、産業、自然・環境、教育、青少年健全育成、生涯学習、歴史・文化、スポーツ、交流、その他()

【具体的な内容】(改善すべき問題点・悩み、伸ばすべき長所や魅力 など)

分譲マンションに転入してきた子育て世代の多くは、知り合いも少なく、生活情報も不足して孤立しがち。情報提供や子育て支援等が必要では。

年齢

45才

性別

男・女

氏名

鳴子花子

次回の地域委員会は 10月4日(木)、午後7時から
鳴子コミュニティセンターで開かれます。みなさんも、
ぜひ一度 地域委員会の会場に足をお運びください！

【お問い合わせ】鳴子地域委員会事務局 事務局長 早川忠彦 ☎052—896—7520

【支援・協力】緑区役所まちづくり推進室 ☎052—625—3872